



2024年7月30日(火)
国立大学法人岡山大学
7月定例記者会見(学長発表)

環境省「令和6年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に採択 ～産官学金で中小企業の脱炭素経営を推進～

国立大学法人岡山大学 学長
那須 保友

研究・イノベーション共創機構 産学官連携本部 副本部長
船倉 隆央

1. 環境省「令和6年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

モデル事業の概要

- 地域ぐるみでの中堅・中小企業に対する脱炭素経営支援体制の構築を進めるモデル事業を創出する
- 本モデル事業の成果を踏まえ、地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制の構築に向けたガイドを作成する

背景と目的

- ・ 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、日本全体の温室効果ガス排出量の約2割を占める中小企業の脱炭素経営の促進が重要
また、中堅・中小企業ひいては地域産業の雇用促進や事業の維持・発展のためにも脱炭素経営が重要
- ・ 数が多く地域特性が強い中堅・中小企業に対する支援は、地域の商工会議所、地方金融機関等の機関による支援が重要
一方で、単独で全てを行うのは困難であることから、機関が連携した地域ぐるみでの支援が有効と考える
- ・ 本事業では、地域ぐるみでの中堅・中小企業に対する脱炭素経営支援体制の構築を進めるモデル事業を創出することを目的とする

支援の対象とスキーム

- ・ 地域内の中堅・中小企業の脱炭素経営促進に取り組む団体を公募の対象とし、10件程度の採択とする(公募状況により調整する可能性あり)
- ・ 申請者は地方公共団体又は支援機関等とする(共同提案することを妨げない)



1. 環境省「令和6年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

昨年度公募・今年度公募通じて**大学としては全国初の採択**

採択参加団体

令和6年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業参加団体の実施エリアと代表申請者は下記の通りです。

【実施エリア】	【代表申請者】
千葉県銚子市	銚子信用金庫
埼玉県狭山市・所沢市・飯能市・入間市・日高市	狭山市
長野県長野市	長野市
石川県七尾市	和倉温泉 創造的復興まちづくり推進協議会
和歌山県	和歌山県
岡山県	国立大学法人岡山大学
香川県三豊市	三豊市カーボンニュートラル推進協議会
愛媛県今治市	今治市
福岡県北九州市	北九州市
福岡県古賀市	古賀市



(環境省HPから引用)

1. 環境省「令和6年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

申請者

- 岡山大学(代表申請者)
- 株式会社中国銀行

連携支援者

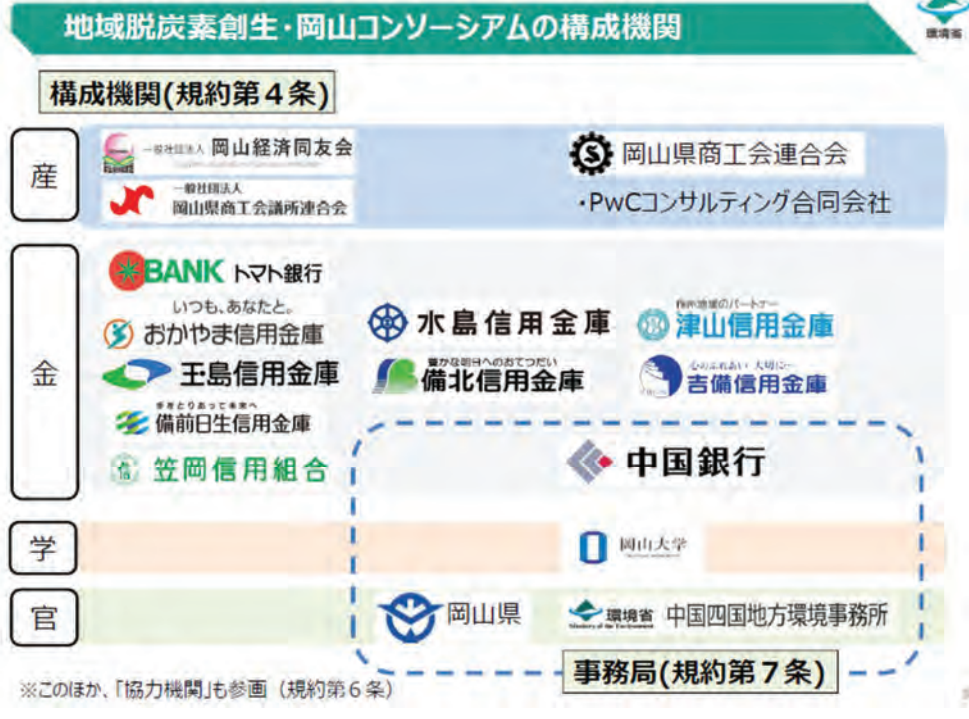
岡山県内

- 岡山県、一般社団法人岡山県商工会議所連合会、岡山県商工会連合会、岡山県中小企業団体中央会、公益財団法人岡山県産業振興財団、一般財団法人岡山経済研究所、一般社団法人サステナブル経営推進機構(岡山オフィス)、株式会社Cキューブ・コンサルティング、株式会社システムズナカシマ、株式会社両備システムズ

岡山県外

- 一般社団法人炭素会計アドバイザー協会、三井住友海上火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損保株式会社、MS&AD インターリスク総研株式会社

2. 地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム



2. 地域脱炭素創生・岡山コンソーシアムのこれまでの活動

(セミナーの開催)



(勉強会の開催)

第一回(令和5年6月)

テーマ:地球温暖化対策の現状と脱炭素経営について 他
講師:中国四国地方環境事務所 地域脱炭素創生室 他

第二回(令和5年8月)

テーマ:岡山県におけるカーボンニュートラルの取組について
講師:岡山県 環境文化新エネルギー・温暖化対策室

第三回(令和5年12月)

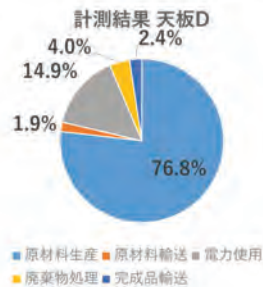
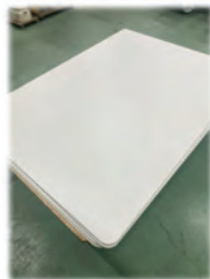
テーマ:岡山大学におけるカーボンニュートラルの取り組み 他
講師:岡山大学 DX・GX担当理事、上席副学長 他

第四回(令和6年3月)

テーマ:ちゅうぎんグループにおける脱炭素の取組み 他
講師:株式会社中国銀行地方創生SDGs推進部 他

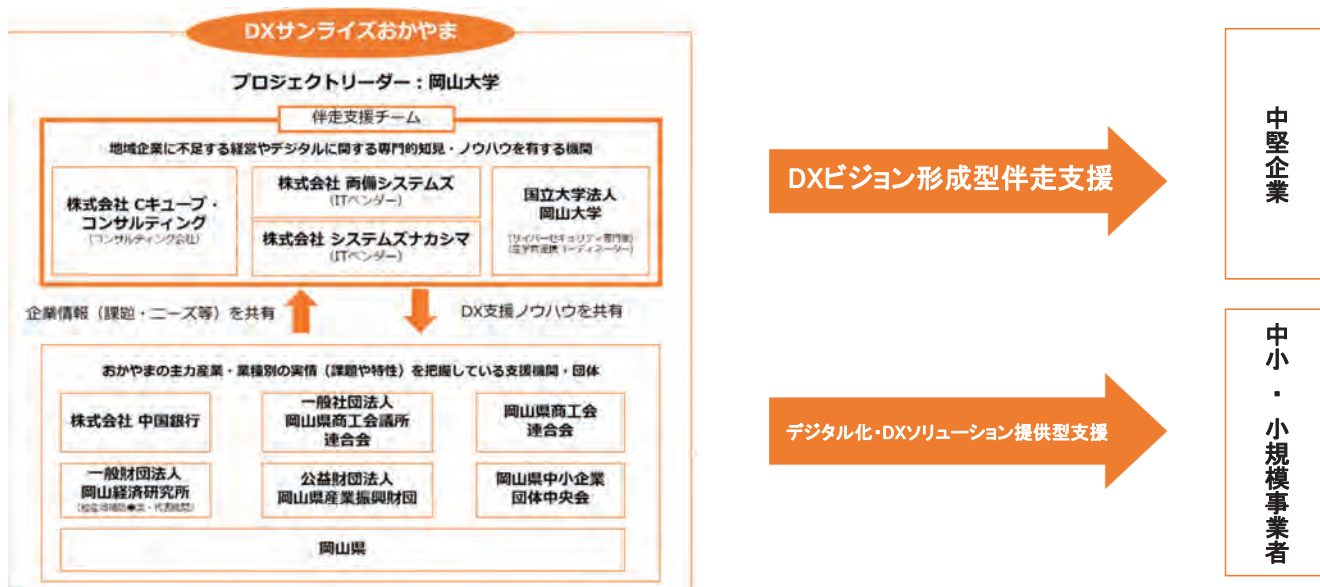
2. 地域脱炭素創生・岡山コンソーシアムのこれまでの活動

岡山大学経済学部が県内企業の主要製品について「カーボンフットプリント(CFP)算定」を実施。



3. DXサンライズおかやま(DXSUN)

岡山県内中小企業のDXを強力に後押しするため、DXに向けたビジョン形成型伴走支援やデジタル人材の育成を目的として、産学官金11社の連携により2023年7月に発足。



3. DXサンライズおかやま(DXSUN)のこれまでの活動

＜伴走支援先企業が経済産業省「DXセレクション2024」に選出＞

＜経済産業省「DX支援ガイドンス(2024年3月策定)」にDXSUNの取組事例が掲載＞

大学・教育機関として唯一の掲載

DX Selection 2024 DX認定
オカネツ工業株式会社 (産業機械、農業機械製造業) / 岡山県岡山市

【企業概要】URL: <https://okanetsu.co.jp/>
 資本金: 70,000千円
 従業員数: 258人
 代表者: 代表取締役 和田俊博

【事業概要】
 動力伝達装置の開発・製造技術を基軸として、
 ビジネスチャンスへの探究と挑戦しています。
 【企業理念】
 社是「誠実、実行、人格」

取組概要

- 【DX: 取り組むきっかけ】
 ・ 少子高齢化による労働力不足で稼働作業の負担が重くなっており、**スマート農業**分野にビジネスチャンスを見出し、従来の単対単の安全面や作業負担の課題解決を目指す。
- 【DXによって実現したい経営ビジョン・ビジネスモデル】
 ・ **AI搭載型農具の自社開発と社内のDX**による生産体制の確立を目指す。「作る側のDX」は「使う側のDX」により、社会全体のデジタル・ビジネス・トランスフォーメーションを促す。
 【DXを推進するための戦略】
 ・ 岡山大学、岡山理科大学、スタートアップ種との産学オープン・イノベーションにより、AI搭載、無検閲検閲を可能とするラジコン型農具の製品化を目指す。また、デジタルツールを用いた生産、受発注の効率化により「はたらくことの満足度」を高める。
- 【組織づくり・人材確保の取組み】【デジタル技術活用の取組】
 ・ 代表取締役が毎月の改善実行計画フォーラムを開催。全社員に変革の方向性を導きながら、ITパスポート等のデジタル資格の取得を促し、人材のパフォーマンスを最大に引き出す。
 【DX推進に向けたガバナンスシステム】
 ・ 経営戦略部システム課が中心となり、Q: 風人性的の排除、C: 効率化による工数削減、D: 情報の一元化と共有、について部署横断的に実現すべきこととして認識を共有。
- 【成果】
 ・ 「ラジコン型農具の製品化」に向けて、設備の稼働時間、加工時間、設備異常による停止時間から稼働率を正確に把握し、**効率的な生産体制を確立**。

経済産業省「DXセレクション2024選定企業レポート」から引用

DX 支援ガイドンス 別冊事例集

令和5年3月訂正

経済産業省
 情報政策総局 情報技術政策課

16. 岡山大学(大学・教育機関)

② DX 支援に対する考え方

岡山大学はこれまで、デジタル人材育成、企業と研究者・学生との共創の場の構築、AI・データサイエンス研究拠点の整備など、様々なDX推進活動を行ってきた。

その経験から大学が持つ強みや特色を活かした中企業におけるデジタル技術普及、産官連携の場を創出することを目指し、一方で、大学が活用している企業は非営利企業のみならず、多岐にわたる。

また、企業とのDX推進活動は関係構築の初期段階に際して、多くの場合、技術力不足からデジタル化やシステム化が阻害されることが多く、DX推進活動が停滞する傾向がある。

DXSUNによる支援活動は関係構築の初期段階に際して、中企業から手がかりを得、支援を決定するまでに時間を要した。これは、関係構築の初期段階でも産官連携、産官連携を促す効果があることと関係している。

大学として支援活動と連携して中企業への支援を行うのは初めての試みであったため、支援者としての役割が明確なまま支援がスタートした。

DXSUNによる支援活動は関係構築の初期段階に際して、中企業から手がかりを得、支援を決定するまでに時間を要した。これは、関係構築の初期段階でも産官連携、産官連携を促す効果があることと関係している。

大学として支援活動と連携して中企業への支援を行うのは初めての試みであったため、支援者としての役割が明確なまま支援がスタートした。

経済産業省「DX支援ガイドンスーデジタル化から始める中堅・中小企業等の伴走支援アプローチ(別冊事例集)」から引用

3. DXサンライズおかやま(DXSUN)のこれまでの活動

CFP算定企業を対象として
 ワークショップ形式で概ね5年後のDX・GXビジョン・ロードマップを検討

産学官連携コーディネーター、大学事務職員、経営指導員、自治体職員等 約20名が参加

DX・GX両面で企業の成長をサポート



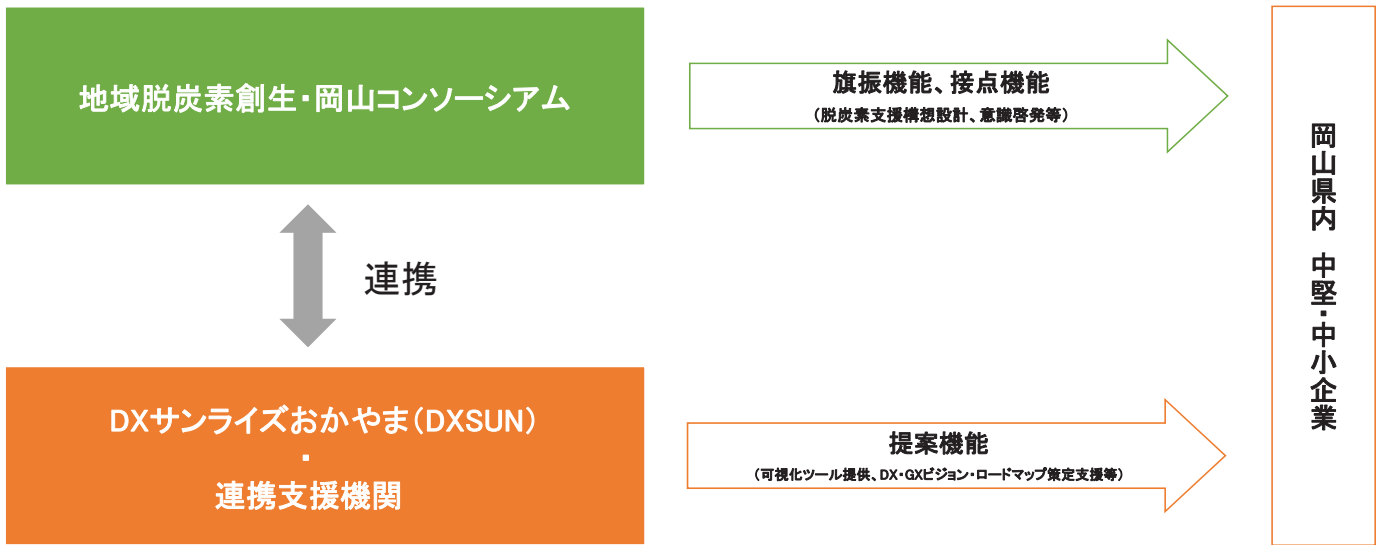
経営課題の抽出・整理



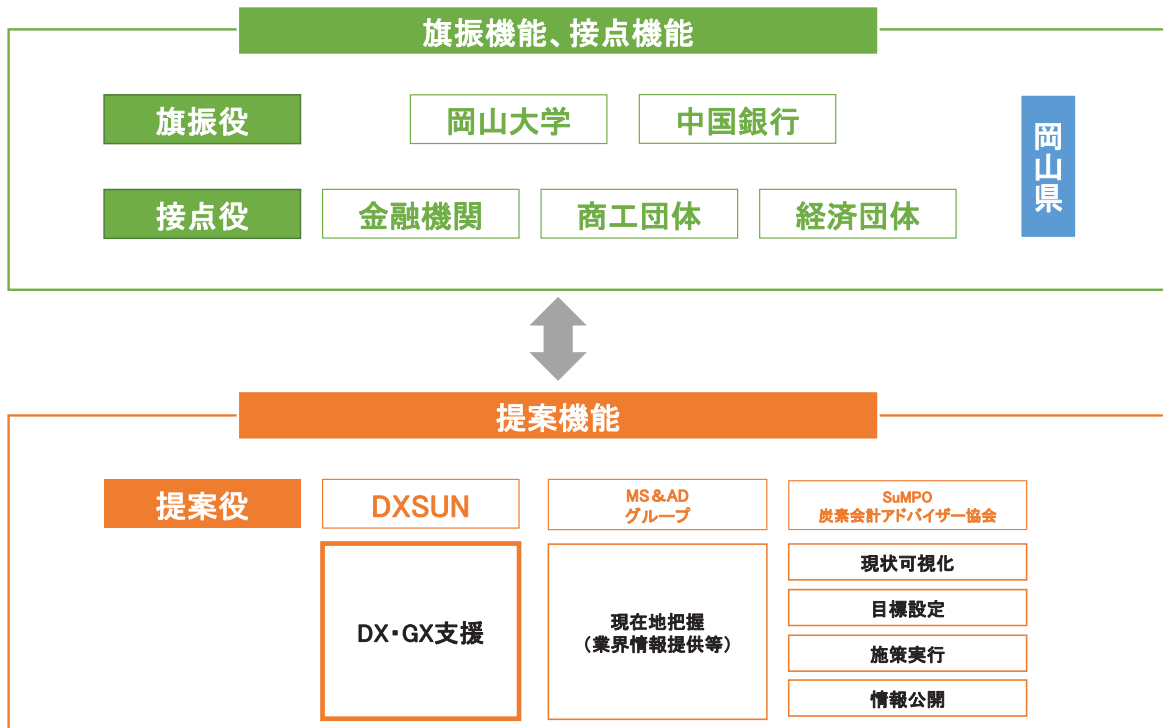
各グループで検討したDXビジョン・ロードマップを発表



4. 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制の構築



4. 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制の構築



4. 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制の構築

- 令和6年7月16日に環境省とのキックオフ・ミーティングを開催。
- 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築に向けた方向性について議論を交わした。



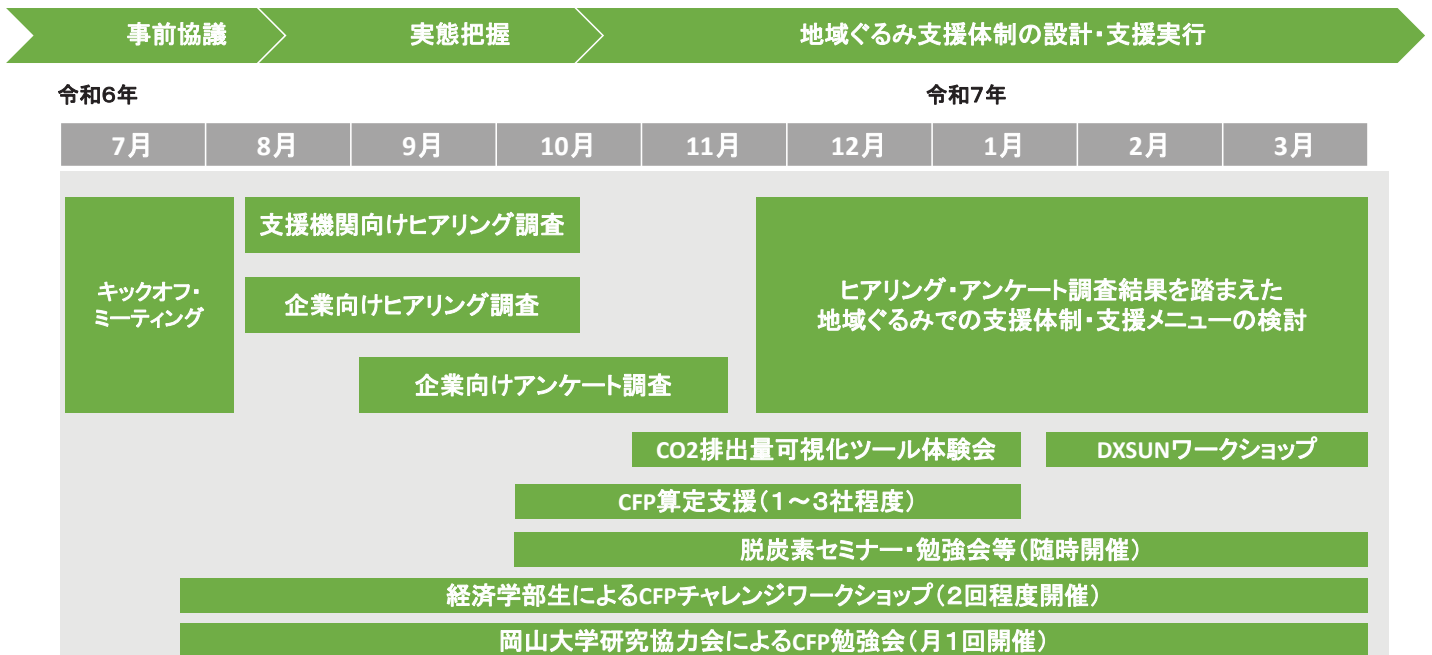
5. 今後の活動予定

(目指すべき姿)

地域ぐるみ体制での脱炭素メニューと機能 (イメージ)



5. 今後の活動予定

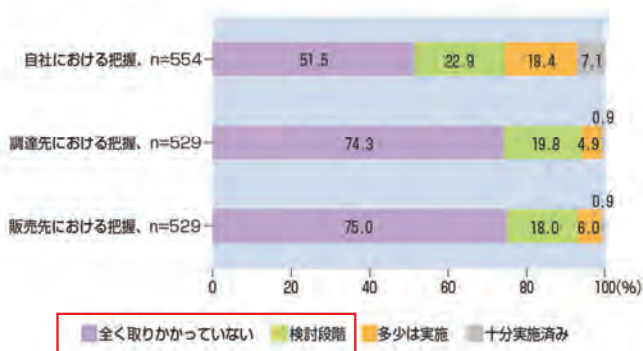


15

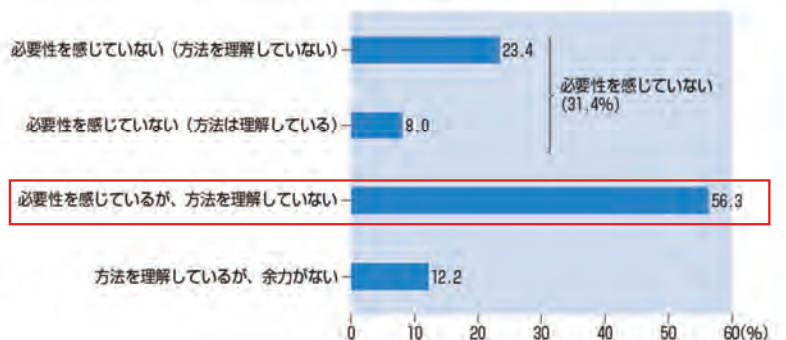
5. 今後の活動予定

- GHG排出量算定の必要性は感じているものの、算定方法を理解していない企業が多く、実際に手を動かしながらCFPにチャレンジすることが大事。
- 支援機関、学生と共にCFPに取り組むことで、支援スキル向上、高度人材育成を目指す。

図表Ⅱ-12 温室効果ガス排出量の把握(単数回答)



図表Ⅱ-13 温室効果ガス排出量の把握に取りかかっていない理由(n=410、単数回答)



16

5. 今後の活動予定

昨年度に引き続き岡山大学経済学部によるカーボンフットプリント(CFP)チャレンジワークショップを岡山県商工会連合会との連携により令和6年7月25日に開催。



5. 今後の活動予定

岡山大学が事務局を務める「岡山大学研究協力会」の新企画として、カーボンフットプリント(CFP)勉強会を令和6年7月から毎月開催。

【講師】

一般社団法人サステナブル経営推進機構
(Sustainable Management Promotion Organization) <略称「SuMPO」(さんぽ)>



主任研究員
仲井 俊文

● 専門領域

- ・環境測定分析、環境志願
- ・ライフサイクルアセスメント
- ・元環境計量証明事務局副局長
- ・岡山県産業環境対策課専門官
- ・岡山県商工会連合会専門官

● 活動実績

- ・LCAエキスパート養成勉強会
- ・国際企業：LCAに関する特権相談

● 一言メッセージ

地域課題を共に考えて取り組む、持続可能な社会の構築に向けて、お客様に寄り添った支援を致します。

<第一回勉強会(7/26)の様子>



【オブザーバー】

岡山大学 経済学部 准教授(会計学) 天王寺谷 達将



学位

博士(経営学) (神戸大学)

研究キーワード

社会環境会計 インノベーション 環境経営 環境計算 環境会計

研究分野

人文・社会 / 会計学

6. まとめ

- 岡山大学が旗振り役となり、地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業を通じて、産学官金連携による地域ぐるみでの支援体制の構築を目指す。
- DXSUNとの連携により脱炭素経営支援(GX支援)、DX支援を結びつけることで、脱炭素と企業成長の両立を追求。
- 取組の第一弾としてCFP勉強会を岡山大学研究協力会との連携により開催し、学生を交えながら異業種間での学び合いの場を形成。



地域企業とサステナブルな未来を共創

7. 参考 — 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)

国立大学法人岡山大学 (強化を図る機能: ①、②)

参画機関: 筑波大学、東京大学、東京工業大学、山梨大学、大阪大学、山口大学、理化学研究所、自然科学研究機構、津山工業高等専門学校

取組内容の概要

地域と地球の未来を共創し、世界の革新の中核となる研究大学～持続可能な社会を実現させる10年構想～

不易流行の大学法人経営 ～社会変革の実現によるマルチステークホルダーのWell-being追及～

<p>①卓越性の飛躍から世界的課題を解決する新技術創出</p> <p>50年後、100年後のありたい未来: 地球と生態系の健康 (Planetary Health) の実現に向け、地球外活動も視野にいたし、新たな知見と新技術開発を推進</p> <p>高等先鋭研究院 先鋭研究群 (研究特区) を選定: (第1弾) 植物・光エネルギー開発拠点</p> <p>【10年後】「光合成の根幹をなすタンパク質の機構等」「植物の機構・構造・ゲノム情報」解明により、人工光合成の社会実装、クリーンエネルギー生産システムや極限環境下でも安定・高強度を保つ新素材開発を加速化</p> <p>世界トップの研究群(地の塩)とリソースの集注により、研究界のトップサークルを先導し、地球規模の課題解決を図り、国際研究イニシアチブを推進</p> <p>自然災害 地球環境変化 気候変動 エネルギー不足</p>	<p>②イノベーション創出によるWell-being社会の実現</p> <p>【10年後】デジタルの力で人の持た力を最大限活用し、医療制度と生活様式の変革を導く拠点</p> <p>Community Health & Human Health 先導大学群の形成</p> <p>DXを軸に産学官連携により誰一人取り残されないコミュニティを創生 (国家戦略特区: デジタル田園健康特区を活用し、中山間地域の課題解決の全国展開)</p> <p>規制緩和 革新的新医療技術 暮らし改革 新産業・新産業創出 スタートアップの創出</p> <p>共生型産学連携 (国家戦略特区岡津大学) 工取組を加速・波及 (筑波大学、山梨大学、大阪大学、山口大学の連携による産学官連携)</p> <p>医療分野からALL層大の総合創生 岡山から全国自治体へ入会して世界へ課題解決の模範例 (シナジー効果)</p>
<p>③イノベーション創出の知と技のメッカとなる研究基盤整備 (研究力強化・産業振興拠点)</p> <p>1. 先端分析計測設備・基盤設備の充実及び共用化の推進</p> <p>2. 総合技術部・技術職員の高度化</p>	<p>④ 研究界の国際トップサークルを先導する研究者と知識を活用し社会を変革するナレッジワーカーの育成・輩出</p> <p>1. 複層型人事制度 (複数キャリア)</p> <p>2. 研究マネジメント人材認定制度</p> <p>3. 事務職員の機能分化と高度化 (博士号取得者学実履制度)</p> <p>4. 教員の機能分化と全体最適</p> <p>5. スーパーPI制度 (優秀若手研究者支援) 6. 特区卓越研究者制度 7. シニア・ミドルトップ研究者制度</p>

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)

岡山大学の取り組み図



世界に誇れる
研究大学の山脈を築く



国立大学法人岡山大学
第15代学長(第5代法人の長)
那須 保友

地域中核・特色ある研究大学 岡山大学が拓く今と未来

OKAYAMA
UNIVERSITY
×
SDGs



私たちは大学が地域と地球の未来を共創し、世界を変革させ、
持続可能な社会を実現させる“力”があることを信じています

【本件お問い合わせ先】

岡山大学研究・イノベーション共創機構 研究・イノベーション共創管理統括部

TEL: 086-251-7115

E-mail: innovation@adm.okayama-u.ac.jp